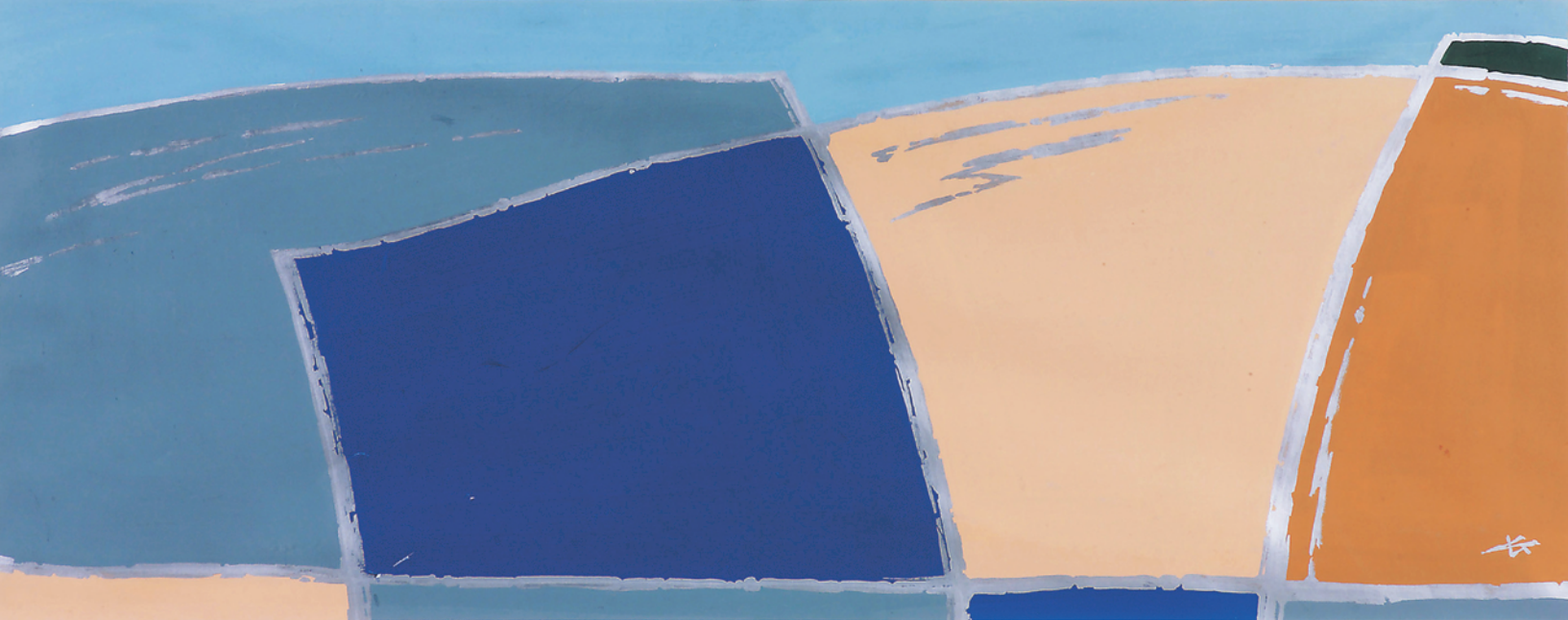




「総親和と躍進 (I)」 1966 年 ※川内文化ホールのだん横の下絵

川内まごころ文学館 第 17 回特別企画展

山口長男の「ことばとがたち」

や ま ぐ ち

た け お

日本の抽象絵画の先駆者として国際的に活躍した、本市ゆかりの画家・山口長男。油彩画、陶器の絵付け作品など多様な資料と共に山口長男の「ことば」にも焦点を当て、その人物像を紹介します。

事物はわれわれにありのままの姿を見せている。
観ると観ないとは
われわれの方にあるようだ。

山口 長男



「会」 1970 年 【枕崎市文化資料センター南浜館所蔵】

2022. 8.2 火 ▶ 9.25 日

- 場 所 川内まごころ文学館 企画展示室
- 開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
- 休 館 日 月曜日 ※祝日の場合はその翌日
※8/15 は特別開館
- 観 覧 料 大人 300 円、小学生～高校生 150 円
※小学生～高校生は土日祝日観覧無料



「作品 (皿絵付)」

制作年不詳

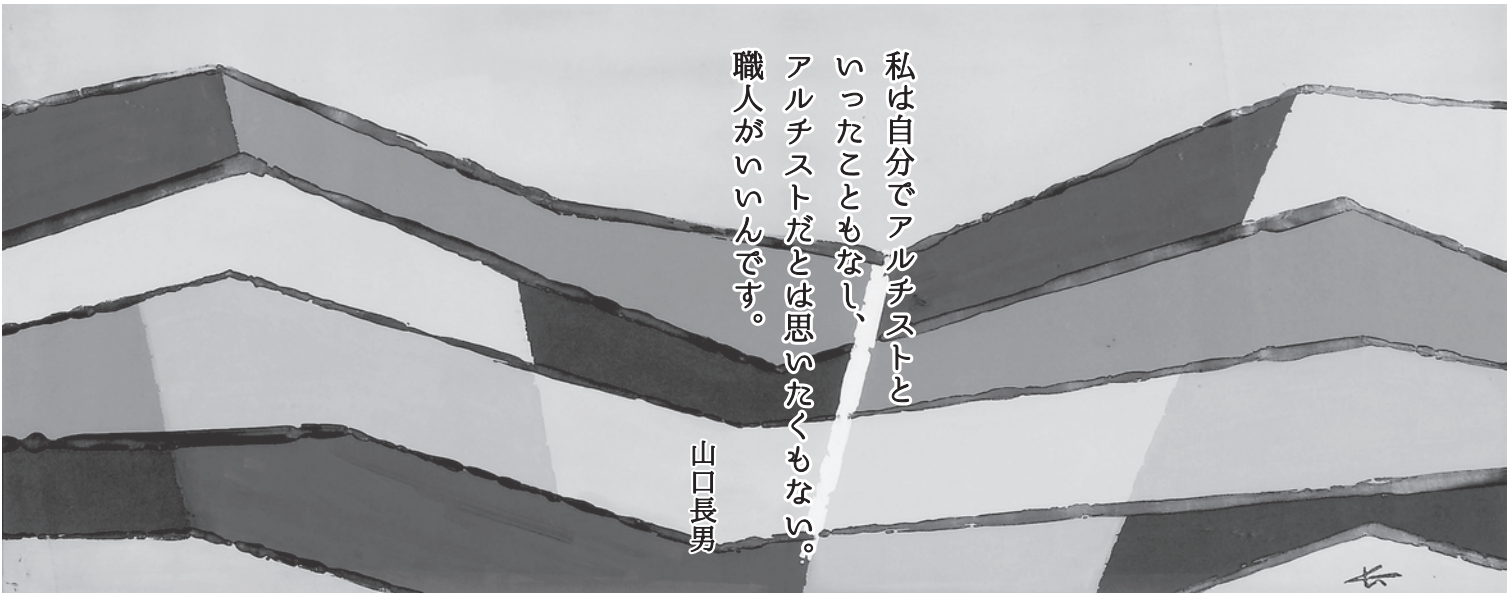
【枕崎市文化資料センター南浜館所蔵】



薩摩川内市川内まごころ文学館

〒895-0072 鹿児島県薩摩川内市中郷二丁目 2-6

TEL:0996-25-5580 FAX:0996-20-0818



「総親和と躍進(Ⅱ)」 1966 年

川内まごころ文学館 第 17 回特別企画展

やまぐち たけお

山口長男の“ことば”と“かたち”

令和 4 年 8 月 2 日(火)～9 月 25 日(日)

山口長男がインタビューで語った言葉や、随筆に残した言葉からは、長男の制作に対する向き合い方や、その人柄をうかがい知ることができます。

そんな言葉とともに、油彩画、水彩画、陶器の絵付作品など多様な作品をご紹介します。山口長男の“ことば”と“かたち”をお楽しみください。



「作品(黒)」 制作年不詳 *

* = 枕崎市文化資料センター南浜館所蔵



「作品(陶板)」 制作年不詳 *

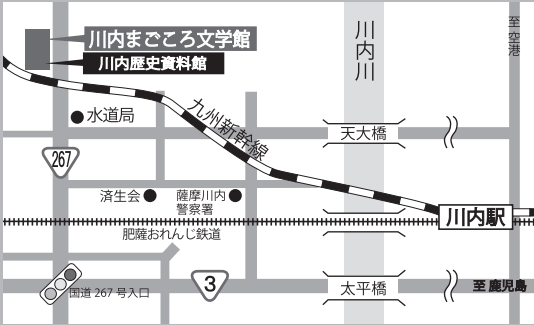


「作品(皿絵付)」 制作年不詳 *

引用文…表:「美術手帖」第 2 巻第 3 号 1949・昭和 24 年 3 月より
裏:「美術手帖」10 月号 1954・昭和 29 年 10 月より

山口 長男 略年譜

明治 35 年 (1902)	11 月 23 日、韓国京城府(現在のソウル)に、父・ ^{たへえ} 太平衛(薩摩川内市出身)、母・カメの長男として生まれる。 ※本籍は薩摩川内市川永野町
大正 4 年 (1915)	京城中学校に入学 在学中に出かけたスケッチハイキングで絵を描く楽しさに目覚める
大正 11 年 (1922)	東京美術学校西洋画科に入学
昭和 2 年 (1927)	東京美術学校西洋画科卒業 留学のためパリに渡る
昭和 6 年 (1931)	京城へ帰る 有島生馬の紹介で二科展に作品を出品
昭和 21 年 (1946)	日本へ帰国
昭和 29 年 (1954)	武蔵野美術大学西洋画実習教授となる アメリカ抽象美術展に出品 第 1 回現代日本美術展で優秀賞受賞
昭和 37 年 (1962)	昭和 36 年度芸術選奨文部大臣賞受賞
昭和 38 年 (1963)	サンパウロ・ビエンナーレ展に出品
昭和 41 年 (1966)	デザインを手がけた川内文化ホールのどん帳が完成し設置される
昭和 57 年 (1982)	武蔵野美術学園の学園長就任
昭和 58 年 (1983)	4 月 27 日 東京小平市で死去 享年 80 歳



※くるくるバスをご利用の方は「歴史資料館前」で下車

- 開館時間 9:00～17:00
※入館は 16:30 まで
- 休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)
- 観覧料 ()は 20 名以上の団体

	文学館	資料館共通
大人	300 (240) 円	400 (320) 円
小学生～高校生	150 (120) 円	200 (160) 円

※小学生～高校生は土日祝日観覧無料
※発行日から 1 年間、何度でも入館いただけるお得な年間パスポートもございます

特別企画展関連ワークショップ
ことばをかたちで描こう 参加無料

令和 4 年
8 月 27 日(土)、28 日(日) 13:30～16:00 ※随時受付

くじ引きでひいた言葉と形からイメージをふくらませて
コラージュ作品を作ります。

■場所 文学館 企画展示室前スペース
■対象 小学生以上 ※小学 3 年生以下は保護者同伴

薩摩川内市川内まごころ文学館

〒895-0072 鹿児島県薩摩川内市中郷二丁目 2-6
TEL:0996-25-5580 FAX:0996-20-0818